

防災に欠かせないもの

どちらかと言えば、防災とは「男の役割」というイメージが強かったのではないでしようか。科学も、文化も、腕力も、頭脳も通用しない自然の猛威に対してそれだけで立ち向かうのは困難です。防災に対する意識が全国的に高まる中、女性と防災が遠い関係とは言えなくなっています。むしろ女性の力が必要になってきているのです。

### 女性の本能

女性にしかないもの。それは「母性」です。男性には絶対ない女性の本能です。

その本能は、妻として、母として、女性として、強く、優しく、しなやかに生きる女性たちの愛情、包容力や感性などを指します。入山隊長は次のようなことを話していました。

「私の経験上、災害現場や火事場に行ったとき、被害にあった人は私たち女性消

防隊によく話しかけてくる人が多いように感じます。女性だから安心するのでしょうか」と。

まさにその本能がそうさせているのです。

防災の最前線で活躍する男性の「力」に女性の「母性」が加われば、より強固な防災力を身につけることができるのです。その二つを生かすには、コミュニティづくりが重要な力ぎを握っています。

まずは家族という最小のコミュニティからスタートして、隣近所、地域へとその輪を広げていくことが大切です。

### 一人一人の役割

防災への参加の形に答えはありません。防災活動を支えることも、自分より大切なもののために備えることも立派な防災活動です。

つまり、年齢性別問わず一人一人が自分の役割を考え、行動する必要があるのです。災害に強いまちづくりのために。



東日本大震災後、緊急時にすぐ持ち出せるようにと防災グッズを用意したという清水雄三さん・真実さん・媛斗くん・百愛ちゃん。幼い媛斗くんもその使い方を勉強中